

ご利用にあたっての注意事項

Aterm MR04LN

AM1-002751-001
2015年5月 第1版

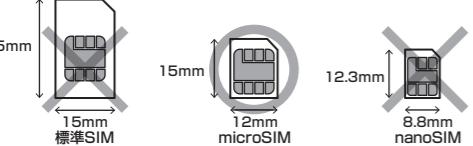
本書は、読んだあと大切に保管してください。

技術基準適合認証品



microSIM カードの取り付けについての注意

本商品は microSIM カード専用です。

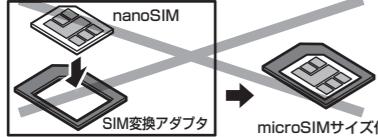


サイズの異なるものや、SIM 変換アダプタを使用したものは、絶対に挿入しないでください。

microSIM カードスロットが故障する原因となります。

※ 場合によっては、挿入したカードが抜けなくなる恐れがあります。

SIM カードのサイズが合わない場合は、ご契約の通信事業者へご相談ください。



※ 標準サイズの SIM カードを microSIM サイズにカットしたもの、 nanoSIM カード、 microSD カードなどを挿入しないでください。

microSIM カードスロットが故障する原因となります。

※ SIM 変換アダプタを使用するなど、適切でない使用により装置が故障した場合は、有償修理となります。（保証期間内であっても、有償修理となります。）

SIM ロックについての注意

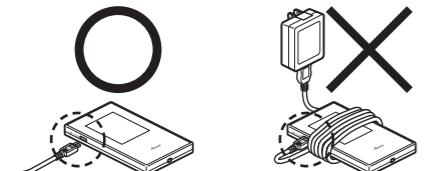
本商品は、SIM ロックをかけていません。

・NECプラットフォームズ株式会社（以下「当社」とします。）にて接続確認を行った通信事業者の情報は、別紙「お問い合わせ・アフターサービス」記載のサポートページを参照してください。
 ・当社にて独自に特定の環境で基本動作や接続動作を確認したものであり、すべての環境で機能・性能・信頼性を保証するものではありません。
 また、当社では、サポートページに掲載されていないサービスの microSIM カードを挿入し利用される場合について、動作確認などを実施しておらず、一切の動作保証を行いません。
 サポートページに掲載されていないサービスの microSIM カードを挿入して利用される場合、ご利用いただけるサービスなどが制限されることがあります。
 また、サポートページに掲載されていないサービスの microSIM カードを挿入し、利用することに伴って発生した、いかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。

ご利用上の注意

AC アダプタや USB ケーブルを接続したまま本体にケーブルを巻きつけないでください。

プラグ部分に無理な力が加わり続けた場合、故障の原因となることがあります。



ここでは、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明

危険: 人が死亡する、または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。**警告**: 人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**注意**: 人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

サポート案内は、「お問い合わせ・アフターサービス」や「お問い合わせ情報」と記載されている場合があります。

警 告

本体、電源、設置場所

- 日本国内 AC 100V ~ 240V (50/60Hz) の家庭用電源以外では使用しないでください。本商品に添付の AC アダプタは日本国内 AC 100 ~ 240V (50/60Hz) の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。差し込み口が 2 つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の AC アダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。
- AC アダプタのコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。また、重いものをのせたり、加熱したりすると AC アダプタのコードが破損し、火災、感電の原因となります。
- 本商品の AC アダプタは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。
- AC アダプタは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付の AC アダプタは、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 本商品や AC アダプタにものをのせたり布や毛布などを掛けたりしないでください。過熱し、ケースや AC アダプタのコードの被覆が溶けて火災、感電、故障の原因となります。
- AC アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。また、AC アダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。
- 本商品の AC アダプタは屋内専用ですので、屋外で使用しないでください。雨水などがかかるたり、ほこりなどの混入による、感電、故障の原因となります。

microSIM カード

- microSIM カードを本商品へ取り付けや取り外す際は、必要以上の力を加えないでください。手や指を傷つけたり、故障の原因となることがあります。
- 乳幼児の手の届かない場所に保管してください。microSIM カードを誤って飲み込むなど、事故やけがの原因となります。

こんなときは

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、別紙「お問い合わせ・アフターサービス」記載のお客様相談窓口にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、別紙「お問い合わせ・アフターサービス」記載のお客様相談窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品の USB ポートに導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、隙間などから異物が入らないようにしてください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、別紙「お問い合わせ・アフターサービス」記載のお客様相談窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。特に子様のいるご家庭では、ご注意ください。
- AC アダプタのコードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、別紙「お問い合わせ・アフターサービス」記載のお客様相談窓口にご連絡ください。
- 万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、別紙「お問い合わせ・アフターサービス」記載のお客様相談窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

禁止事項

- 本商品は家庭用の電子機器として設計されています。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。
- 本商品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。改造した機器を使用した場合は、電波法に抵触します。
- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。
- 本商品の USB ポートに変形した USB コネクタを接続しないでください。火災や故障の原因となります。
- 本商品の USB ポートに接続する際は、無理に力を加えないでください。火災や故障の原因となります。
- 本商品の内部や周囲でエアダスター やダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。引火による爆発、火災の原因となります。

医用電気機器の近くでの取り扱いについて

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部から本商品は 15cm 以上離して携行および使用してください。電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本商品の電源を切るようにしてください。電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

- 無理な力がかかるところ（ズボンのポケット、かばんの底など）に入れないでください。破損、故障の原因となります。
- 本商品に乗らないでください。特に小さい子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

● 医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- ・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、本商品を持ち込まないでください。
- ・病棟内では、本商品の電源を切ってください。
- ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本商品の電源を切ってください。
- ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示にしたがってください。
- ・自宅療養などで医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどに確認してください。電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

その他のご注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 自動車やエレベーター、自動ドアなどの自動制御電子機器に影響が出る場合は、すぐに使用を中止してください。安全走行や安全運行を阻害する恐れがあります。
- 本商品や花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。また、屋外で使用する場合、本商品がぬれないようにご注意ください。水や液体が中にに入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- AC アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。また、AC アダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。
- 引火や爆発の恐れがある場所（ガソリンスタンドなど）や引火性のガスの発生するような場所での使用や放置はしないでください。爆発、発火、破裂、故障、火災の原因となります。
- 風呂場やシャワールームなどでは使用しないでください。また、水や飲料水、ペットの尿などでぬらさないでください。漏電して、火災、感電、故障、やけど、けがの原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 車両の運転中に本商品を操作しないでください。交通事故の原因となりますので、車両を安全な場所に止めてからご使用ください。

注 意

本体、設置場所

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそば、炎天下の車内など温度の高いところで使用、保管、放置しないでください。機器の変形、故障の原因となります。また、本商品の一部が熱くなり、やけどの原因となったり、内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 温度変化の激しい場所（クーラー や暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品を風通しの悪いところに置かないでください。熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のようないかたはしないでください。
 - ・収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
 - ・じゅうたんや布団の上に置く
 - ・テーブルクロスなどを掛ける
- 本商品を重ね置きしないでください。また、本商品の上にものを置かないでください。重ね置きや上部にものを置くと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- ポケットの中に入れて使用したり、皮膚に触れた状態で使用しないでください。低温やけどを起こす可能性があります。

AC アダプタ / USB ケーブル

- AC アダプタの電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。AC アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- AC アダプタを水や海水、ジュースなどでぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに AC アダプタをコンセントから抜いて、別紙「お問い合わせ・アフターサービス」記載のお客様相談窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- AC アダプタの電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に 1 回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。
- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、本商品の AC アダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 本商品の使用中や使用直後に AC アダプタが高温になる場合があります。やけどなどの恐れがありますので注意してください。
- USB ケーブルは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付の USB ケーブルは、他の製品に使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- USB ケーブルの両端の根元を強く引っ張ったり、曲げたり、コードを機器に巻きつけたりしないでください。

禁止事項

- 無理な力がかかるところ（ズボンのポケット、かばんの底など）に入れないでください。破損、故障の原因となります。
- 本商品に乗らないでください。特に小さい子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

● 雷が鳴りだしたら、AC アダプタのコードに触れたり周辺機器を接続したりしないでください。落雷による感電の原因となります。

- 【つなぎかたガイド】にしたがって接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。
- クレジットカードなどを本商品に近づけないでください。磁気カードのデータが消える恐れがあります。
- 充電池カバーを外したまま使用しないでください。充電池パックが外れたり、故障、破損の原因となります。

microUSB コネクタ

- microUSB コネクタなどにゴミやほこり、金属片などの異物を絶対に入れないでください。故障や記録内容の消失の原因となります。

microSIM カード

- 落としたり、ぬらしたり、曲げたり、衝撃を与えたり、重いものをのせたりしないでください。故障の原因となります。
- 火のそばやストーブのそばなど高温の場所で使用したり、放置しないでください。変形、データの消失など故障の原因となります。
- 他の製品の IC カードリーダーなどに microSIM カードを取り付けないでください。故障の原因となります。故障した場合、お客様の責任となり、当社では一切の責任を負いません。
- microSIM カードの金属部を傷つけたり、ショートさせたりしないでください。データの消失、故障の原因となります。
- microSIM カードは本来の用途以外の方法で使用しないでください。データの消失、故障の原因となります。
- microSIM カードの金属端子部分は汚さないでください。故障の原因となります。汚れたときはやわらかい布などでふき取ってください。
- microSIM カードを取り外すときは、本商品の電源を切ってから、指でカードを押し込み、カードが出てきても、すぐに指を離さないようにしてください。また、取り付けるときは、カードがカチッと音がするまでしっかりと押しつぶし、すぐに指を離さないでください。microSIM カードを装着しているカードスロットを顔の方に向けて急に指を放すと、カードが飛び出して危険です。

ディスプレイ

- ディスプレイにものを当てたり、強く抑えたり、本体を落としたりする割れがあります。故障の原因となります。
- 万一、ディスプレイが割れた場合は、ディスプレイから漏れた液体には絶対に触らないでください。感電やけがなどの原因となります。
- ディスプレイを強い力でこすったり、押したり、とがったものや固いもので突かないでください。けがや故障の原因となります。
- つめをたてて操作しないでください。けがや故障の原因となります。
- ディスプレイに砂埃やゴミなどをつけないように注意してください。ついでた場合は、やわらかい乾いた布などできれいにふき取ってください。そのままご使用されますと、ディスプレイに傷がつき故障の原因となります。

その他の注意事項

- 使用中は本商品が熱くなることがあります。手で触れることができる温度であれば故障ではありません。ただし、長時間触れたまま使用すると、低温やけどになります。
- 皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用を止め、医師の診断を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じる場合があります。
- 小児が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、使用の途中においても、指示どおりに使用しているかどうか注意してください。間違った使用はけがの原因となる可能性がありますので十分にご注意ください。
- お客様ご自身で本商品に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあります。当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 自動車の電子機器に影響が出る場合は、使用しないでください。安全な走行できなくなる恐れがあります。

リチウムイオン電池の取り扱いについて

危険

- 水・海水・ジュースなどでぬらさないでください。充電池パックに組み込まれている保護機構が壊れると、異常な電流、電圧で充電池パックが充電され、発熱、破裂、発火の原因となります。
- ストーブなどの熱源のそばに放置したり、火のそばや、炎天下の車内などで充電はしないでください。高温になると危険を防止するための保護機構が働き、充電できなくなったり

- 本商品には充電池パック(ラベルに「AL1-003988」と記載されているもの)を添付しています。指定の充電池パック以外の充電池パックを使用しないでください。漏液、発熱、破裂、発火、機器本体の故障の原因となります。
- 充電池パックは、本商品専用です。指定機器以外の用途に使用すると、機器によっては異常な電流が流れ、充電池パックが破損する可能性があり、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 充電池パックを火の中に投入したり、加熱したりしないでください。絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護機構を損傷したりするだけでなく、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 充電池パックのプラス(+)とマイナス(-)とを金属で接続しないでください。またネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。充電池パックがショートし、過大な電流が流れ、発熱、破裂、発火、あるいはネックレス、ヘアピンなどが発熱する原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、投げつけたり、針を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。充電池パックが変形、充電池パックに組み込まれている保護機構が壊れ、異常な電流、電圧で充電池パックが充電される可能性があり、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 充電池パックに直接はダメダメ付けてください。熱により絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護回路が損傷し、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 充電池パックを分解したり、改造したりしないでください。充電池パックには危険を防止するためのガス排出弁や保護機構が組み込まれています。これらを損なうと、充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。

警 告

- 本商品および充電池パックは、乳幼児の手の届かないところに置いてください。不用意な取り扱いは危険をともないます。
- ディレクターや高圧容器に入れないでください。急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火の原因となります。
- 充電池パックの使用、充電、保管時の異臭、発熱、変色、変形、その他今までと異なることに気がついたときは、本商品より出して、使用しないでください。使用を継続すると充電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電時、所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を停止してください。充電池パックが発熱、破裂、発火する原因になる恐れがあります。
- 充電池パックが漏液したり異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください。漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因となります。
- 充電池パックが漏液して液が目に入ったときは、こすらずに水道水などのきれいな水で充分洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。放置すると液により、目に障害を与える原因となります。

注 意

- 直射日光の当たる場所、炎天下の車内など、高い温度になる場所に放置しないでください。充電池パックを漏液させる原因になる恐れがあります。
- 危険防止のため保護機構が組み込まれています。保護機構に損傷を与える可能性のある静電気が発生する場合で使用しないでください。保護機構が壊れ発熱、破裂、発火の原因となる恐れがあります。
- 充電池パックの充電温度範囲は、0°C ~ 35°Cです。この温度範囲以外での充電は充電池パックを発熱、破裂させる原因になる恐れがあります。
- 充電池パックを使用する前に、本書および『つなぎかたガイド』をお読みください。また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 充電池パックの充電方法については、『つなぎかたガイド』をよくお読みください。
- 充電池パックをお買い上げ後、初めてご使用する場合に、さびや異臭、発熱、その他異常と思われたときは、使用しないで、お買い上げの販売店にご持参ください。
- 充電池パックの充電や放電中に、可燃物を上に載せたり、覆ったりしないでください。充電池パックを発熱、破裂、発火させる恐れがあります。
- 充電池パックが漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- 充電池パックを保管する場合および廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁してください。他の充電池パックや金属製のものと混ぜないようにしてください。

お知らせ

- ACアダプタを使用している場合でも、充電池パックは徐々に劣化します。長時間ACアダプタをつないだ状態にしていると、充電池パックの劣化を早めてしまいます。本体を使用していないときで、充電池パックを充電していない場合は、ACアダプタを外してください。
- 長期間(半年以上)お使いにならない場合、電池特性を維持するため半年に一度は電池残量を確認し、40%程度充電することをお勧めします。充電池パックが電池残量なしの状態で長期間保管しますと、充電できなくなることがあります。(保管されている温度により充電できなくなるまでの期間は変わります。)
- ご使用の条件により、寿命が近づくにつれて充電池パックが膨れる場合がありますが、安全上の問題はありません。
- 必要に応じてロングライフ充電機能をご利用ください。充電池パックの劣化を遅らせるることができます。(ロングライフ充電機能の設定方法は、ユーザーズマニュアルを参照してください。)

使用済み充電池パックの処理

- 充電池パックの金属端子は、ビニールテープなどで必ず絶縁してください。ショートにより発火・発煙の原因になる恐れがあります。
- 充電池パックは、絶対に解体しないでください。解体すると金属端子が露出し、ショートの原因となります。

- ご使用済みの充電池パックは一般家庭ゴミとして棄てないで、「充電池パックのリサイクルについて」にしたがって処理してください。棄てられた充電池パックがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

充電池パックのリサイクルについて

本充電池パックは、リチウムイオン電池です。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。不要になったリチウムイオン電池は廃棄せず、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って、お買い上げいただいた販売店またはリサイクル協力店へお持ちください。
※充電式電池のリサイクルおよびリサイクル協力店については、一般社団法人JBRCホームページ <http://www.jbrc.com/> (2015年5月現在) を参照してください。



充電池パック (AL1-003988)
(1UF75555S-B003A)
公称電圧：3.8V
公称容量：2300mAh

充電池パックのご利用上の注意

- 充電池パックの寿命は、お客様のご利用環境により変わります。いざという場合に備えて、早めの交換をお勧めします。
- 新しい充電池パックは、Shop@Aterm (<http://shop.aterm.jp/>) でお買い上げください。
- 充電池パックは消耗品です。満充電時でも、約1時間しか使用できなくなったりは、充電池パックの寿命が考えられますので、充電池パックの交換をお勧めします。
- 本商品を保管される場合は、充電池パックの性能や寿命を低下させないために、次の点にご注意ください。
 - ・ 電池残量が十分にある状態で充電を繰り返すと劣化が早くなりますので、20%程度になってから充電をお勧めします。
 - ・ 満充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管はしないでください。
 - ・ 電池残量なしの状態(本体の電源が入らない程度消費している状態)での保管はしないでください。
 - ・ 落とさないでください。強い衝撃を与えると、激しく劣化したり、故障の原因となります。
 - ・ 高温になる場所に置かないでください。長期間保管する場合は、涼しい場所に置いてください。
- 電池保護のため、高温になったら充電を停止することがあります。

注意

- 1 本商品のマニュアルの内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁じられています。
- 2 本商品のマニュアルの内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 3 本商品のマニュアルの内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 4 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 5 セキュリティ対策をほどこす。あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 6 せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態(例えば落雷や漏電など)により故障してしまっては能力を発揮できません。本商品のマニュアルをよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。
- 7 Wi-FiとBluetoothの同時利用は可能ですが、速度が遅いなどの影響が出る可能性があります。

メンテナンスバージョンアップ機能に関する許諾について

メンテナンスバージョンアップ機能は、本商品のソフトウェアに重要な更新があった場合に、インターネットを介して自動でバージョンアップする機能です。「重要な更新」とは、NECプラットフォームズ株式会社(以下「当社」とします。)が本商品の機能を提供するうえでソフトウェアのバージョンアップが必須と判断した場合(例えばセキュリティ上の不具合を改善するソフトウェアの更新など)を示します。重要な更新がある場合は、当社ホームページの「製品に関する重要なお知らせ」にてご案内します。

メンテナンスバージョンアップ機能が開始されると、本商品が再起動するため、それまで接続していた通信が切断されます。また、従量制課金契約の場合、ソフトウェアダウンロードによる通信費用や、パケット通信量超過による速度制限が発生する場合があります。発生した通信費用は、お客様ご負担となります。

本機能では、本商品に関する情報のうち、本機能が動作するするために必要な最小限度の機器情報・ネットワーク情報を当社が運用するサーバへ通知します。これらの情報は、本機能の実現と本商品や本機能の改善・向上のためだけに利用し、これ以外の目的では利用しません。また、これらの情報は、当社の取り扱い手続きに則り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合につきましても、当社の取り扱い手続きに適切な管理を実施します。

本機能は、工場出荷時に有効(「使用する」)になっています。本機能に関して許諾いただけない場合は、下記手順で機能を無効(「使用する」のチェックを外す)にしてください。ただし、本機能を無効にした場合、セキュリティ上の不具合を改善するような重要なソフトウェアの更新であっても、自動的にバージョンアップは行いません。改善前のソフトウェアをそのまま使用し続ける場合、悪意のある第三者から不正なアクセスをされる危険が残る可能性があります。

<無効にする方法>

- ① WWWブラウザのアドレス欄に「<http://aterm.me/>」と入力し、クリック設定Webを起動する
- ② 「ユーザー名」(上段)には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段)にはお客様が設定した管理者パスワードを入力する
- ③ 「詳細設定」-「その他の設定」を選択する
- ④ 「補助設定」にある「メンテナンスバージョンアップ機能」の「[使用する]」のチェックを外す
- ⑤ 「設定」をクリックする

無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線 LAN アクセスポイント間で情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下の問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
 - 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報をメールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
 - 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
 - 特定の人物になりますして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
 - 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
 - コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)
 - 等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少くなりります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策をほどこす。あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

なお、無線 LAN をより安全にお使いいただくために、暗号化キーは定期的に変更することをお勧めします。

本商品で使用しているソフトウェアについて

本商品には、GNU General Public License (GPL) または GNU Lesser General Public License (LGPL)に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLにしたがい、複製、頒布および改変することができます。

詳細はユーザーズマニュアルを参照してください。

電波に関する注意事項

- 本商品は、技術基準適合証明を受けています。
- IEEE802.11ac、IEEE802.11n(5GHz)およびIEEE802.11a通信利用時は、5GHz帯の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz帯の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。
- 5GHz帯で使用するチャネルは36、40、44、48ch(W52)と52、56、60、64ch(W53)と100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch(W56)です。従来のIEEE802.11aで使用の34、38、42、46ch(J52)の装置とIEEE802.11aモードでの通信はできません。

IEEE802.11b/g/n	W52 (5.2GHz帯/36,40,44,48ch), W53 (5.3GHz帯/52,56,60,64ch), W56 (5.6GHz帯/100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)
IEEE802.11a/n/ac	
J52/W52/W53/W56	

5GHz帯で接続する子機は、以下の表示があるものを推奨します。

- W52 (5.2GHz帯/36,40,44,48ch)
- W53 (5.3GHz帯/52,56,60,64ch)
- W56 (5.6GHz帯/100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)

- W53(52/56/60/64ch)またはW56(100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch)を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。

- 各チャネルの通信開始前に、1分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
- 通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので通信が中断されることがあります。

- IEEE802.11n(2.4GHz)、IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時およびBluetoothを用いた通信利用時、リモート起動設定した休止状態では、2.4GHz帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

(1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

(2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか(IEEE802.11n(2.4GHz)、IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時のみ)、使用場所を変えるか、または機器を電源OFF(電波の発射を停止)にしてください。

(3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別紙「お問い合わせ・アフターサービス」記載のお客様相談窓口にご連絡ください。

- すべてのBluetooth機器との接続を保障するものではありません。

- 本商品は2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、IEEE802.11n(2.4GHz)、IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、移動体識別装置の帯域を回避ですが、Bluetooth使用時は移動体識別装置の帯域を回避不可能です。変調方式としてDS-SS方式、OFDM方式およびFH-SS方式を採用しており、与干渉距離は、DS-SS方式で40m、FH-SS方式で10mです。

2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線設備を示す
DS4 : DS-SS方式で想定される干渉距離が40m以下であることを示す

OF4 : OFDM方式で想定される干渉距離が40m以下であることを示す
FH1 : FH-SS方式で想定される干渉距離が10m以下であることを示す

■ ■ ■ : 全帯域を使用し、かつ本商品としては移動体識別装置の帯域を回避不可能であることを示す

- 本商品を2.4GHz帯で使用し、チャネル設定を手動で行う場合は、一般社団法人電波産業会のARIB規格により下記内容が推奨されています。
- 「この機器を2.4GHz帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャネル設定として、CH1, CH6, CH11のいずれかにすることを推奨します。」ただし、無線 LAN 以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の CH1, CH6, CH11 以外を使用しなければならない場合はこの限りではありません。(使用チャネルの設定方法は、ユーザーズマニュアルを参照してください。)

データ通信端末の比吸収率(SAR)について

この機種 MRO4LN は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

この国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を